

平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	松下峻也
		全体計画						経費区分		-		内線	3414
事務事業名	4165 畜産総合対策事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	05012100 農業の活性化												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060104 農林水産業費・農業費・畜産振興費											
	事業	010000 畜産総合対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病の発生を防ぐ。 そのさと有機センターのメンテナンスの充実を図り、良質の堆肥を製造する。						ワクチンの普及、自衛防疫体制の整備及び畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病発生の減少に寄与した。 家畜診療所の運営、北信食肉センターの運営に負担金を交付し、畜産振興・食の安全安心に寄与した。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
そのさと有機センター攪拌措置点検、袋詰設備及びロボットパレタイザー保守点検の実施	そのさと有機センター攪拌装置点検及び修繕
平成29年度 予定	平成30年度 予定
そのさと有機センターロボットパレタイザー及び袋詰め設備点検	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		3,596	4,195
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,596	4,195
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,887.6	2,887.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,887.6	2,887.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		6,483.6	7,082.6

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	999	消耗品 195 修繕料 805
13節 委託費	119	機械設備保守点検 119
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,997	須高家畜防疫協議会負担金 243 北信食肉センター管理運営負担金 239 家畜診療所運営費負担金 1,515
その他	481	土地借上料481

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,033	消耗品 206 修繕料 827
13節 委託費	384	機械設備保守点検委託 384
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,308	家畜防疫協議会負担金 250 北信食肉センター負担金 239 家畜診療所運営費負担金 1,819
その他	470	土地借上料 470

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	防疫や必要最小限の衛生事業は必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	目的は達成している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	広域的な組織に対する負担金が多く効率的	

振り返り（決算年度の取組み課題）

業種としては販売額の低迷、高齢化などにより衰退している。積極的な事業展開よりは必要最低限の事業を実施。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設修繕等は、畜産全体の動向を見ながら行う必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

関係機関と連携し畜産振興に向け農家支援を行う。また、指定管理者と連携し施設管理を行う。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--